

2026年度学習支援計画書（シラバス）

科目名			担当講師	
服飾造形			石山 玲子	
授業科目区分	授業形態	学科名	学年	時間数
必修	実技	ファッションクリエイト科	1	7単位（210時間）
担当講師の経歴又は実務経験				
服飾専門学校卒業後、アパレル企業にてファッションデザイナー、パタンナーとして勤務。 その後、ファッションデザイン画、服飾造形などの指導を受け持つ。				
授業概要				
衣服製作におけるデザイン、作図、縫製の基礎的な知識、技術の習得と応用				
学習到達目標				
衣服製作の基礎を学び、基本形からの展開を応用した作品を製作する				
テキスト及び教材				
文化ファッション大系 各服飾造形講座				
授業内容				
回	テーマ	内 容		
1～20	基礎縫い	裁断縫製の基礎を身に付ける		
21～30	スカート原型	タイトスカートの作図、試着点検、補正を行いスカート原型を作成		
31～50	身頃原型	身頃原型の作図、試着点検、補正を行い身頃原型を作成		
51～100	夏に向けた作品製作	スカート原型からのデザイン展開とパターン展開、仮縫い方法と試着補正法、裁断、縫製法を身に付ける ブラウスのデザインと作図、仮縫い方法と試着補正法、裁断、縫製法を身に付ける		
101～125	タイトスカート製作	裏布のパターン、裏つき仕立ての裁断、縫製法を身に付ける		
126～130	まち飛び作品	行事販売用の商品製作		
131～220	テーラードジャケット製作	テーラードジャケットの作図、試着補正方法、総裏仕立ての裁断、縫製法を身に付ける		
221～300	春に向けた作品製作	デザインを検討し確定する。 人体構造や運動機能、素材特性を考え、平面製図、立体裁断技術をいかし、デザイン発想力と表現力を身に着ける。 作品を製作する。 小物など付属品の作成		
301～330	自由作品製作	自由に作品を製作する		

2026年度学習支援計画書（シラバス）

科目名		担当講師
服飾造形		石山 玲子
成績評価の方法及び基準		
構造理解度、製作知識度、作品完成度、表現力などを授業内、提出物により評価する。		
評価		成績評価の到達度
A	優れている	理解、知識、表現にすぐれている
B	普通	一定の理解、知識があり、表現ができる
C	やや劣る	ある程度の理解、知識があり、表現ができる
D	劣る	理解、知識、表現がやや不足している
E	不合格	理解、知識、表現が不足している